

1 学年 国語 ガイダンスシラバス

担当：遠藤 千香

1. 国語を学ぶねらい

私達は人と関わり合いながら生きています。そのため、人と人との関係の中で互いの立場や考え方を尊重しながら、言葉によって伝え合う力をつけることが必要です。さらに、言葉によってさまざまな考え方、感じ方を受け取っていくことで、私たちは自分を形成し、充実させ、より心豊かに生きていくことができます。人と関わり合いながら、自分自身を豊かにしていくために、国語の学習をしていきます。

2. 国語の学習で高めていく資質・能力

- 「知識及び技能」 漢字・文法・伝統的な言語文化・情報の扱い方・読書・書写
- 「思考力・判断力・表現力」
 - A「話すこと・聞くこと」
スピーチ・プレゼンテーション・話し合い等
 - B「書くこと」
レポート・案内文・感想文・テーマ作文等
 - C「読むこと」
説明的文章の読み取り・文学作品の読み取り等
- 「学びに向かう力、人間性」
主体的に学習に取り組む態度（粘り強さ・調整力）

3. 学習方法

- ① 授業で話を聞いたり、考えを持ったり、伝えあったりして積極的に参加する。
- ② 課題に対してより良いものになるよう、粘り強く、調整をしながら取り組む。
- ③ 「よくわかる国語の学習」で学習内容の復習を行う。
- ④ 「言葉ノート」を使って漢字練習を行い、小テストに臨む。また、日常生活で使えるようになることを目指す。
- ⑤ 提出物を期限まで取り組んで提出する。ワークなどは○つけをして、理解しているかどうか自ら把握すること。
- ⑥ 新聞や本・詩に触れ、社会で起きていることや他者の考え、ものの見方に触れる。

4. 持ち物

教科書、授業用ノート（縦書き）、ファイル、筆記用具（赤・青ペンを準備）
「よくわかる国語の学習1」、書写の教科書、書写セット、「役立つ文法」、
「言葉ノート」

※書写セットは必要な時に連絡する。その他の持ち物は、すべてロッカーに置いてよい。

5. 学習の評価と方法

- 知識・技能・・・小テスト・定期テスト・課題
- 思考・判断・表現・・・授業ノート・定期テスト・課題
- 主体的に学習に取り組む態度・・・学習カード・授業ノート・評価テスト

※提出物評価についてはA^o～Cを記載します。達成率は以下の通りです。

A^o（100%）A（90%）A⁻（80%）B^o（70%）B（60%）B⁻（50%）C（40%）C⁻（40%未満）
評価なし（0%）

6. 授業で大切にしてほしいこと・・・教室は間違ふところ

- ①自分の考えをもち、クラスの人と伝え合う。
- ②他の人の意見に対して笑ったり馬鹿にしたりしない。
- ③提出物は計画的に取り組み、提出日に間に合うようにする。
- ④忘れ物をしたら先生に言う。「〇〇を忘れたので～します。／～してもらえませんか。」
- ⑤忘れ物をした際に、ほかクラスの人から借りることはしません。

7. 年間学習計画

(学習計画の変更の可能性あり。語彙・漢字・作文の学習は年間を通して行う。)

学 期	月	単元名 学習の内容	学習の目標	評価方法
1	4	のはらはうたう	詩に込められた思いを理解し、それを踏まえて音読・発表することができる。	プリント 学習カード 小テスト 定期テスト 学習課題 授業の様子
	5	シンジュン 文法 聞き取り タ'イソは大きな根 ちょっと立ち止まって	文学作品の内容を理解し、展開を捉えることができる。 言葉の単位を理解することができる。 目的に応じて聞くことができる。 説明的文章の段落の役割を読み取ることができる。 観点を決めて情報を整理し伝えることができる。	
	6	スピーチ 書写(毛筆) 情報の取り扱い	説明的文章の構成・展開を読み取ることができる。 自分の思いをわかりやすく伝えることができる。 字形を整えて楷書で書くことができる。	
	7	読書活動	情報を集めたり、整理したりすることができる。 自分のおすすめの本を紹介できる。	
2	9	詩の世界 星の花が降るころに 聞き取り 案内文を書く 「言葉」を持つ鳥	詩の表現しているものを感じ、考えをもつことができる。 描写を基に、内容を捉えることができる。 質問で相手から話を聞きだすことができる。 目的や相手意識をもって案内文を書くことができる。	プリント 学習カード 小テスト 定期テスト 学習課題 授業の様子
	10	展開を捉えて話し合う 書写(毛筆) 文法	図表の効果を理解し、記録文の特徴を捉える。 話題や展開を捉えて話し合うことができる。 行書の特徴を理解し、字形を整えて書くことができる。	
	11	レポートを書く 大阿蘇 蓬萊の球の枝 今に生きる言葉 「不便」の価値	文の組み立てについて理解することができる。 資料を引用してレポートを書くことができる。 詩の表現を参考に詩を搜索することができる。 歴史的仮名遣いを理解して、音読できる。 自分の生活に結び付けて考えることができる。	
	12	文法 読書活動	本文の内容を理解し、要約することができる。 文の組み立てについて理解することができる。	
		書写(毛筆)	本に親しみ、これからの読書生活について考えることができる。 字形を整えて書くことができる(書き初め練習)。	
3	1	少年の日の思い出 随筆二編	場面の展開や表現について捉えることができる。 描写を基に筆者の考えを捉えることができる。	プリント 学習カード 小テスト 定期テスト 学習課題 授業の様子
	2	文法 1年を振り返る	単語の分類を理解することができる。 要点をまとめて発表することができる。	
	3	言語文化	百人一首や古典について知り、内容を捉えることができる。	

2 学年 国語 ガイダンスシラバス

担当：多多納 秀行

1. 国語を学ぶねらい

私達は人と関わり合いながら生きています。そのため、人と人との関係の中で互いの立場や考え方を尊重しながら、言葉によって伝え合う力をつけることが必要です。さらに、言葉によってさまざまな考え方、感じ方を受け取っていくことで、私たちは自分を形成し、充実させ、より心豊かに生きていくことができます。人と関わり合いながら、自分自身を豊かにしていくために、国語の学習をしていきます。

2. 国語の学習で高めていく資質・能力

○「知識及び技能」

漢字、文法、伝統的な言語文化、古文視写等

○「思考力・判断力・表現力」

A「話すこと・聞くこと」

スピーチ・プレゼンテーション・討論活動等

B「書くこと」

感想文、200字テーマ作文、書写等

C「読むこと」

説明的文章の読み取り・文学作品の読み取り等

○「学びに向かう力、人間性」

主体的に学習に取り組む態度（粘り強さ・調整力）

※「知識及び技能」の観点、「思考力・判断力・表現力」の観点の評価を含む。

3. 学習方法

- ① 国語のワークや、文法ワーク・漢字練習ノートなどは繰り返し取り組む。
- ② 各種小テストはテスト日を逆算し、目標点に見合う準備をしっかりと行う。
- ③ ワークシートはタブレットで他者の出来栄えを共有しながら、自分で目標を決めて取り組む。

4. 持ち物

国語の教科書、ファイル、国語のワーク、漢字練習ノート、文法ワーク、書写バッグ、
※書写バッグは必要な時に連絡します。その他の持ち物は、ロッカーに置いて良い。

5. 学習の評価と方法

○知識・技能→小テスト、視写チェック、定期テスト等

○思考・判断・表現→ワークシート、定期テスト、感想文、200字作文等

○主体的に学習に取り組む態度→授業の様子、意味調べ、自主課題、長期休業課題

※小テストは得点により評価する。

※視写チェック、ワークシート、作文等は S～B×の基準で評価する。」なおあまりに到達度が低いと判断した場合は、程度に応じた評価をする。なお、
それぞれの得点は以下の通り。

A° (100%) A (90%) A-(80%) B° (70%) B(60%) B-(50%) C(40%) C-(39%未満)

6. 先生からのアドバイス

以下の点に注意して取り組みましょう。

- ① 漢字テストや各種小テストの得点力をつけるために繰り返し勉強しましょう。
- ② ワークシートは出来栄えによって評価が異なります。どのレベルの評価を狙うかを

考えて自分なりに取り組みましょう。

- ③ 作文は指示された内容を満たせるよう努力しましょう。得手不得手があるので、自分なりの目標設定をして取り組んでください。

7. 年間学習計画 (学習計画は変わることがあります。)

学期	月	単元名 学習の内容	学習の目標	評価方法
1	4	詩 文学的文章 聞く	詩の形式を理解し、主題を読みとることができる 展開や人物像を捉えて読むことができる。 評価をしながら聞くことができる。	ワークシート 小テスト 定期テスト 授業の様子 暗唱テスト 視写チェック
	5	古典 文法・言葉 情報の扱い	枕草子の考え方を理解できる。 名詞・連体詞・副詞について捉えることができる。 情報の信頼性について確かめることができる。	
	6	論説文 スピーチ 情報の扱い	論説の特性を踏まえ、内容を評価することができる。 自分の考えを皆の前で筋道立てて話すことができる。 実用的な文章を読み、内容を評価することができる。	
	7	短歌 書写 読書	短歌の特徴を理解し、作品を作ることができる。 行書の字体を整えて正確に書くことができる。 読書に関する活動計画を立てることができる。	
2	9	詩 文学作品	表現の効果を評価し、考えを深めることができる。 批判的に読み、社会の中で生きる人間の姿について考えることができる。	ワークシート 小テスト 定期テスト 学習課題 授業の様子 作文 暗唱テスト 視写チェック
	10	聞く 言葉	質問をして話を引き出すことができる。 言葉について学び、語彙を増やすことができる。	
	11	論説文 批評文 話合い	文章の内容を批判的に読むことができる。 説得力のある文章を書くことができる。 合意形成に向けた話合いをすることができる。	
	12	古典 論説文 書写	文章に表れている作者のものの見方、感じ方について考えることができる。 文章の内容を批判的に読むことができる。 書き初めの手本を意識して書くことができる。	
3	1	文学的文章 説明的文章	文学的文章の読解ができる。 説明的文章の読解ができる。	ワークシート 小テスト 定期テスト 学習課題 授業の様子
	2	古典の鑑賞文	古典の鑑賞文の読解ができる。	
	3	文法 作文	文法を実際の言語生活で意識できる。 自分の考えを筋道立てて書くことができる。	

※語彙・漢字の学習は年間を通して行う。

3 学年 国語 ガイダンスシラバス

担当：森山 央

1. 国語を学ぶねらい

- 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2. 国語の学習で高めていく資質・能力

- 「知識及び技能」
漢字、文法、伝統的な言語文化、古語の基礎知識、書写等
- 「思考力・判断力・表現力」
 - ・スピーチ、プレゼンテーション、討論活動等
 - ・感想文、200字テーマ作文等
 - ・読解のためのワークシートの取り組み
 - ・定期テストにおける説明的文章の読み取り、文学作品の読み取り等
- 「学びに向かう力、人間性」
主体的に学習に取り組む態度（意味調べ、課題に対する取り組み）
※「知識及び技能」の観点、「思考力・判断力・表現力」の観点の評価を含む。

3. 学習方法

- 「知識及び技能」
 - ・漢字テスト、文法テスト、古文、漢文の視写、暗唱
 - ・定期テストの「知識及び技能」の観点
- 「思考力・判断力・表現力」
 - ・読み取りワークシート1、読み取りワークシート2、段落分けワークシート
 - ・200字テーマ作文、200字要約文、400字読書感想文、俳句のPOP作成
 - ・討論活動の様子、資料、1分間スピーチ
 - ・定期テストの「思考力、判断力、表現力等」の観点
- 「学びに向かう力、人間性」
 - ・「知識及び技能」の観点の評価
 - ・「思考力、判断力、表現力等」の観点の評価
 - ・語句の意味調べ、長期休業中の課題

4. 持ち物

国語の教科書、基礎の学習、文法ワーク、作文ノート、書写バッグ、クリアファイル
※書写バッグは必要な時に連絡します。持ち物は、ロッカーに置いて良いです。
※クリアファイルは受験対策プリントを整理するためのものです。各自で用意してください。

5. 学習の評価と方法

- ① 「知識及び技能」
 - ・漢字テストは10点満点を基本とする。長期休業明けに50題テストを行う。
 - ・文法テストは単元確認テストを状況に応じて配点し行う。漢文の返り点テスト

も含む。

- ・古文や漢文の視写、暗唱はS、A○、A、B○、B、B×、Cで評価する。減点無しがS、減点1がA○、減点2がA、減点3～5がB○、減点6～10がB、減点11以上がB×、未完成は状況に応じてCとする。
※Sは満点、A○は満点に対して9割、Aは8割、B○は7割、Bは6割、B×は5割、Cは状況に応じて2～4割の配点。

② 「思考力・判断力・表現力」

- ・各種ワークシートはS、A○、A、B○、B、B×、Cで評価する。指示された内容を満たしていればB、より良く満たしていればAかA○、誰が見ても感心するような出来栄がS。内容に欠落がある場合はCで評価する。
※評価の配点は「知識及び技能」の観点の※印に準ずる。
- ・各種作文はS、A○、A、B○、B、B×、Cで評価する。条件を半分満たしていればB、指定された条件をすべて満たしていればAかA○。条件をすべて満たした上で内容に独創性が認められる場合はS。条件が半分未満の場合はCとする。
※評価の配点は「知識及び技能」の観点の※印に準ずる。
- ・討論の様子、資料はA、B、Cで評価する。Aは満点、Bは満点に対して8割、Cは5割とする。指示された内容を満たしていればB、より良く満たしていればA。ほぼ討論に参加している場合や資料の内容に欠落がある場合はCで評価する。
- ・スピーチ原稿は討論資料と同様に評価する。1分間スピーチは指示された内容が満たされた状態で1分間±1秒がS、±5秒がA○、A、それ以外の秒数はB○以下とする。A○とA、B○以下はいずれも発表内容により評価する。
- ・指定された俳句と夏季課題の創作俳句の2点のPOPに関して指示された内容を2点とも満たしていればAかA○、条件をすべて満たし、さらに内容に独創性が認められる場合はS、どちらも提出した上でどちらかで条件を満たしていればBかB○、どちらかが未提出の場合はCとする。
※評価の配点は「知識及び技能」の観点の※印に準ずる。

③ 「学びに向かう力、人間性」

- ・「知識及び技能」の観点の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。
- ・思考力、判断力、表現力の内容について、指示に従ってしっかり行おうとしたり、学ぼうとしたりする。
- ・授業、課題に意欲的に取り組み、意見を積極的に発言しようとする。
- ・指定された読み物の語句の意味を調べることで評価する。条件を満たしていない場合は5割の評価をする。条件をほぼ満たしていないと認められる場合は評価しない。
- ・長期休業中の課題について。夏季は俳句、冬季は俳句と書き初めとする。指示通りに取り組むと満点。期限を過ぎると減点される。

6. 先生からのアドバイス

以下の点に注意して取り組みましょう。

- ① 漢字テストや各種小テストの得点力をつけるために繰り返し勉強しましょう。
- ② ワークシートは出来栄によって評価が異なります。どのレベルの評価を狙うかを考えて自分なりに取り組みましょう。
- ③ 作文は指示された内容を満たせるよう努力しましょう。得手不得手があるので、自分なりの目標設定をして取り組んでください。

7. 年間学習計画（学習計画は変わることがあります。）

学期	月	単元名 学習の内容	学習の目標	評価方法
1	4	世界はうつくしいと 握手	詩の形式を理解し、主題を読みとることができる 展開や人物像を捉えて読むことができる。	意味調べ 読取ワークシート 1, 2 400 字感想文 漢文視写 漢文暗唱テスト 漢文（論語）では 200 字のテーマ作文 段落分けワークシート 1 分間スピーチ 読み取り課題 POP 作成
	5	評価して聞く 論語	評価をしながら聞くことができる。 論語の考え方を理解できる。	
		文法・言葉	助詞について捉えることができる。	
		情報の扱い	情報の信頼性について確かめることができる。	
	6	作られた「物語」を超えて スピーチ	論説の特性を踏まえ、内容を評価することができる。 自分の考えを筋道立てて話すことができる。	
		情報の扱い	実用的な文章を読み、内容を評価することができる。	
	7	俳句の可能性 書写 読書	俳句の特徴を理解し、作品を作ることができる。 行書の字体を整えて正確に書くことができる。 読書に関する活動計画を立てることができる。	
2	9	故郷	批判的に読み、社会の中で生きる人間の姿について考えることができる。	意味調べ 読取ワークシート 1 400 字感想文 討論活動 発表用資料 200 字テーマ作文 古文視写 暗唱テスト 提出物で評価
	10	修学旅行記 人工知能について	情報を編集して文章にまとめることができる。 文章の内容を批判的に読むことができる。	
		批評文	説得力のある文章を書くことができる。	
		話合い	合意形成に向けた話合いをすることができる。	
	11	君待つと 夏草	文章に表れている作者のものの見方、感じ方について考えることができる。	
	12	書写	書き初めの手本を意識して書くことができる。	
3	1	誰かの代わりに 様々な文章に触	文章の内容を批判的に読むことができる。 文学的文章の読解ができる。	ワークシート 小テスト 学習課題
	2	れる	説明的文章の読解ができる。	
	3		古典の鑑賞文の読解ができる。	
		文法 作文	文法を実際の言語生活で意識できる。 自分の考えを筋道立てて書くことができる。	

※語彙・漢字の学習は年間を通して行う。